

震災見舞金、募金をいただきました

4月25日、山形県真室川町長井上薫様から、環境王国を代表して見舞金をいただきました。

また、5月2日には七ヶ宿町出身の吉田貴様から、集めて下さった震災募金を届けていただきました。募金箱の中には、募金をしてくれた方からの「募金と一緒に七ヶ宿町に私たちの想いを届けてほしい」というメッセージも同封されていました。

外から七ヶ宿町を支え、応援して下さい下さっている方々に心から感謝し、町のために大切にに使わせていただきます。



▲左から真室川町井上町長、梅津町長、鈴木会長



▲吉田貴さんが震災募金を届けてくれました。

春の交通安全運動が開催されました

5月11日から、全国一斉に春の交通安全運動が始まりました。七ヶ宿町内でも多くの交通安全関係者のみなさまや、株式会社エニック様、七ヶ宿町商工会様、みやぎ仙南農業協同組合様など多くの協力の下、街頭指導や交通安全キャンペーンを行い、町内外を問わず多くの方々に交通安全を呼びかけました。



テーマは〔絆〕 関小学校運動会

5月21日、関小学校で運動会が開催されました。時折吹く強風をものともせず、子どもたちも地域の方々も仲間同士助け合いながら、紅組白組に分かれて白熱したバトルを繰り広げました。

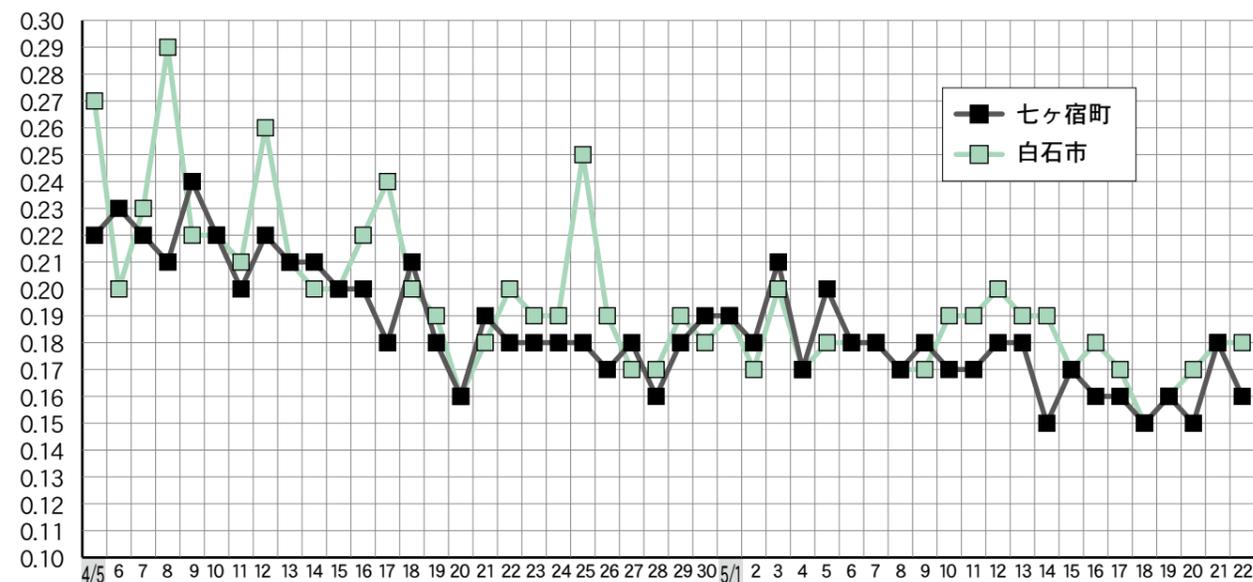
結果は148対156で白組の勝ち。しかし、最後はみんなが一つになってソーラン節を踊り、喝采の中で今年の運動会は幕を閉じました。



七ヶ宿町の放射線量調査結果について

宮城県では4月から放射線環境調査を実施しています。下記のグラフは、町内（役場付近）と、白石市内（東北電力白石営業所付近）の放射線濃度の推移をまとめたものです。

町内で観測された最大数値は、4月9日の0.24 μ Sv/hですが、これは10日間継続して浴び続けても屋内退避基準（10,000 μ Sv）未満の数値であるため、健康に影響を与えるレベルではありません。



◆1マイクロシーベルトは1ミリシーベルトの千分の一、1ミリシーベルトはシーベルトの千分の一です。
※シーベルトというのは人体などが放射線のエネルギーを吸収したことによって受ける影響をあらわします。

町内の水道水及び農産物の放射性物質測定結果について

町内の水道水及び、町内産の農産物について、東北大学の協力を得て放射性物質測定を実施しました。

水道水については放射性物質は検出されず、農産物については少量の数値が検出されたものの、飲食制限に関する指標値を下回り、安全性に問題ないことが確認されました。

水道水中の放射性物質測定結果

採水場所	種別	採水日時	放射性物質
横川簡易水道	水道水	4月21日 11時40分	検出されず
峠田簡易水道		4月21日 9時40分	
滑津簡易水道		4月21日 9時20分	
関簡易水道		4月21日 11時20分	
湯原簡易水道		4月21日 10時00分	
干蒲簡易水道		4月21日 10時40分	
長老簡易水道		4月21日 12時00分	

農産物の放射性物質測定結果

採取場所	種別	採取時	放射性物質	原子力安全委員会が定めた指標値	
七ヶ宿町（露地）	かきな	5月9日	放射性ヨウ素	4	2,000
			放射性セシウム	8	500

※この資料は、宮城県のホームページでもご覧いただけます。
URL : <http://www.pref.miyagi.jp/gentai/press/pressH230315.html>